



HPはこちら

秋田新幹線車両センターにおける 業務執行体制の見直しに関する申し入れを提出！

東日本ユニオンは7月20日に「新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」の提案を受けました。本提案は「新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していく」ことを目的に、盛岡新幹線車両センターと秋田新幹線車両センターにおいて「交番検査における作業工程や作業分担を見直し、業務執行体制を変更する」としています。

提案を受けて以降、私たち東日本ユニオンは持続的に車両メンテナンスを実施していくための新たな体制を構築することにより「故障の未然防止が不十分になってはいけない」「必要な検査修繕ができずに輸送障害を発生させてはならない」などの安全や品質向上の視点、さらに社員1人あたりの業務量や教育の視点など、現場第一線で働く者の立場から提案内容の検討を重ねてきました。

8月23日、幹申第1号「秋田新幹線車両センターにおける業務執行体制の見直しに関する申し入れ」を新幹線統括本部に提出しました。



《幹申第1号・申し入れ項目》

1. トライアルについて冬期を考慮した検証を行わなかった理由を明らかにすること。
2. 交番検査を担当する新入社員や転入者などに対する教育方針を明らかにすること。
3. 臨時修繕が発生した場合も考慮した出面数としているのか明らかにすること。
4. 機器箱浸水や磨耗品凍結などの臨時修繕が発生した場合の作業担当者を明らかにすること。

**会社施策を担いつくるのは私たち現場社員です！
東日本ユニオンに加入して
施策や制度を一緒に改善していきましょう！**